

田場公民館はユニバーサルデザインを導入し、県内では初めてといわれる学童クラブを併設した公民館です。学童クラブの運営は園長先生を始め、4名の職員で運営しており、障がい児のお子様の受け入れも行ってまいります。

田場区は沖縄県うるま市で人口が5708名、世帯数は2271世帯と現在もとも人口の多い自治会です。

公民館活動の中でとりわけ元気に活動を行っている老人会は会員数が814名とうるま市でももっとも会員数が多い地域でもあります。

老人会の活動では毎週火曜日に「田場児童公園定期清掃」「グラウンドゴルフ」またはサークル活動の中では「カラオケ」「民舞」「自彊術」等々多くの老人会員が参加し、地域活性化の中心に常におります。

婦人会の活動も「自彊術トレーナー」「EM石鹸作り」「学童クラブのおやつ作り」「JA婦人部」を中心に約15名で精力的に各活動に取り組んでおります。

平成30年10月より放課後の時間を「居場所づくり」の一環として子どもたちに公民館会議室を提供しておりますが、現在約25名の子どもたち（小学校1年生～6年生）が公民館で自主的に活動しております。

また、コミュニティスクール事業の一環として、具志川東中学校とは「地域生徒会」を4年前から発足し、令和元年度の活動を四つに分け田場区在住の

子どもたちの居場所づくり

沖縄県うるま市 田場区自治会

まちむら発見②



田場区防災訓練

194名の生徒と共に「伝統芸能活動」「公園清掃奉仕活動」「地域史跡調査活動」「地域の小学生へ宿題を教える活動」の四つの活動を行っています。

田場小学校とは、三味線クラブで田場区在住の方による指導を行い、学校発表会で演奏を行うことを目標に活動を行っております。

自治会でも現在伝統芸能保存会の指導の下、平成

11年にうるま市無形文化財指定を受けた「田場ティンバー」を始め、「田場エイサー」を子どもたちに指導し、継承活動を行っております。

「子供三味線教室」も現在企画中で全ての伝統芸能のイベントが小学生だけで開催できるよう、継承活動に注力しております。

自治会では特に子どもたちの取り組みに力を注力しております。

・放課後、公民館で宿題を終了させる。

・自分たちで飲むものはみんなで作って飲む（お茶パックは自治会より提供）。

・調べものがあった場合、公民館のフリーパソコンを使用し自分の力で調べものを完結させる。
・最後の片付けは一人ひとりが行う。



田場区ミニ運動会



田場区夏祭り

・家に帰ったら必ず一つはお母さんのお手伝いを行う。

・学校帰りに公園のゴミを必ず1個持ってくる。

以上の取り組みを行っており、今では前述の取り組みをルール化し、子どもたち一人ひとりが認識したうえで公民館では頑張って勉強を行っています。

今では、帰り道に公園のゴミを拾ってくる子どもたちも多く、この子どもたちの順応性に変化を感じています。

私たちは子どもたちの「居場所づくり」を行うとともに、親子の絆も大事にしたいと考え、夏休みには「子供たちの海遊び体験」ツアーを企画し、海の資料館見学、ランチバーベキュー、マリンスポーツをご家族での参加を条件に、30名の応募で開催いたしました。

昨今、子どもたちと一緒に過ごす時間が少ない保護者が増えており、何か公民館で企画を行い、家族の絆になるきっかけになると考えています。

地域で子どもたちの見守りだけではなく、保護者の気持ちを考える子どもたちの育成が最終的にできれば、最大の結果となると思います。

今後も「家族の絆が最高」を着地点としてブレず、曲げず、取り組んでいきたいと考えております。

子どもたちの秘めた「可能性」を信じ、今後子どもたちに「居場所」を提供しつつ青少年育成に注力して参ります。

（田場区自治会長 天願 力）